

REDDプラスへの取組動向 Country Report 平成26年度 パラグアイ共和国



contents

概要情報	1
1 森林の概況	2
1.1 経年変化	2
1.2 今後の森林計画等	3
2 REDDプラスへの取組状況	4
2.1 取組開始	4
2.2 REDDプラス実施体制	4
2.3 FCPF及びUN-REDDへの参加	6
2.4 REDDプラス実施のための国内制度設計	6
2.5 活動スケジュール及び資金計画	7
2.6 REDDプラスへの取組(年表)	8
3 主だったREDDプラス関連事業の実施状況	9
3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況	9
3.2 日本の支援状況	10
4 その他	11
4.1 UNFCCCへの関与情報	11
4.2 UNFCCCへ提出している森林情報	11
4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策	11

概要情報



自然条件

森林被覆率	43.2% (2010年)	森林減少率	0.99%/年 (2005-2010年)
-------	------------------	-------	-------------------------

ガバナンス

フォーカルポイント	ハイレベル政策委員会	主管官庁	環境庁
-----------	------------	------	-----

国ベースの取組進捗				
実施体制整備	国家戦略策定	モニタリングシステム整備	参照レベル開発	セーフガードに係る規定
○	○	△	—	—

上記は国内での進捗状況を記載している。「○」は準備段階で整備が整ったもの、「△」は整備途中、「—」は未実施もしくは顕著な進捗がないものを示している。

支援

国際イニシアティブへの参加状況	世界銀行FCPF	○（準備基金）
	UN-REDD	○
	その他	—

支援額	25百万米ドル	主なドナー	GEF、UN-REDD、日本
日本からの支援額	9百万米ドル		

わが国の取組状況

JCMに関する情報	協定締結	—
	REDDプラスの取扱い	—
	REDDプラス事業の有無	—

その他の取組状況	<ul style="list-style-type: none">「森林保全計画」(JICS)森林炭素モニタリング技術開発の共同研究(森林総合研究所)
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

1

森林の概況

- パラグアイは国土の約43%が森林であり、そのうち天然林が約11%、天然生林が約89%となっている(2010年時点)¹。森林所有形態は、国有林が森林面積の約39%、私有林が約61%である。パラグアイは南アメリカ中央南部に位置する内陸国であり、パラグアイ川を隔てて大きく東西に分かれている。西部と東部で植生や気候は異なり、森林タイプは、西部の乾燥林と東部の温暖湿潤大西洋岸森林(humid subtropical Atlantic forest)に分けられる。また、森林の生態領域は、大西洋岸森林、セラード、パンタナール、湿潤チャコ、乾燥チャコの5つに分けられる。
- パラグアイの森林は国家森林局(Institute Forestal Nacional : INFONA)が管轄しており、一元化した管理を進めている。
- 森林率(国土面積に占める森林面積割合)は、1990年の約52%から2010年の約43%へと減少した。森林減少の速度は西部と東部で異なり、1990~2000年の10年間の森林面積減少率は西部で約8.6%、東部で約39%となっている²。森林減少が著しい西部について詳細な分析もされており、10年間における森林面積減少率は湿潤地域では9.8%、そして乾燥地域では6.4%となっている²。
- 森林減少・劣化の要因は、農業生産及び家畜飼育による土地利用転換、政府の森林政策や土地利用政策の脆弱性が挙げられている。

1.1 経年変化

表 2-1 パラグアイの概況

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計) ³ (千人)	4,244	5,344	6,455
GDP(百万米ドル)	5,265	7,071	18,331
1人あたりGDP(米ドル/人)	1,096	1,328	2,771
GDP成長率(%)	3.1	-3.3	15.0
国土面積(千ha)	40,675	40,675	40,675
森林面積(千ha)	21,157	19,368	17,582
森林率(%)	52.0%	47.6%	43.2%
年平均森林減少面積 ¹ (千ha/年)	-	179	179
Primary Forest(千ha)	1,850	1,850	1,850
Other naturally regenerated forest(千ha)	-	-	15,684
Planted Forest ¹ (千ha)	23	36	48
Carbon stock in living forest biomass ¹ (百万t)	-	-	-

(注) 森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

¹ 出典：FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010, Global Tables.

² 出典：UN-REDD (2010) National Programme Document- Paraguay : 8-9.

³ 出典：UN data

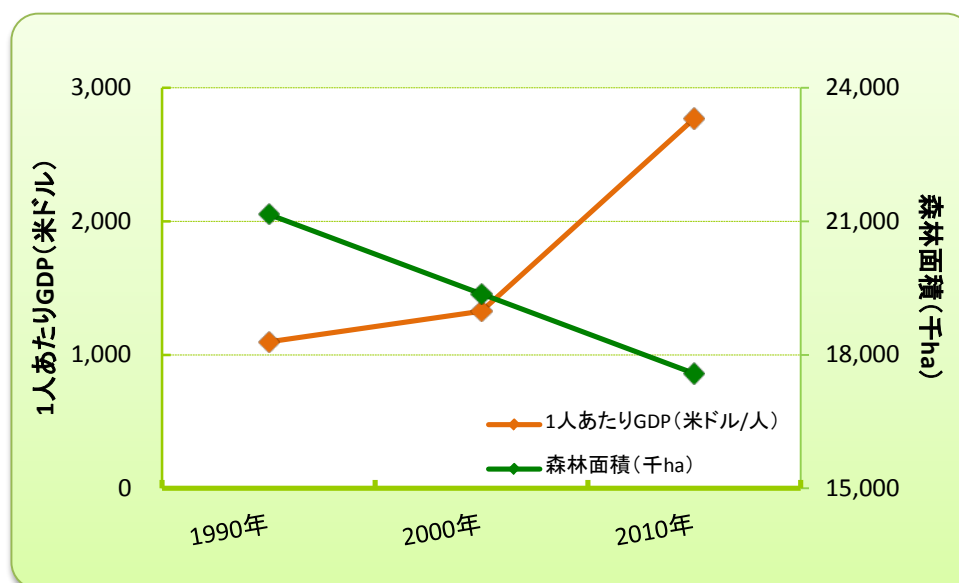


図 2-1 パラグアイの1人あたりGDPと森林面積(1990～2010年)⁴

1.2 今後の森林計画等⁵

- 2005年に、パラグアイの自然・文化遺産の利用を保全・管理するために国家環境政策 (Política Ambiental Nacional : PAN)を承認した。
- 2002年に政府とNGOが共同して国家森林政策 (National Forest Policy)を策定した際、意見を集約する目的で、政府とNGOから成る国家森林事務局 (National Forest Secretariat)を設置した。また、国家森林政策を受けて、2008年に国家森林局 (INFONA)を設置した。
- 上記の政策に基づいて2008年に策定された「2008-2012気候変動計画」では、国土面積の10%に相当する面積の天然林再生を目標として示した。

⁴ 出典：FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010, Global Tables.

⁵ 出典：UN-REDD (2010) National Programme Document-Paraguay : 11.

2

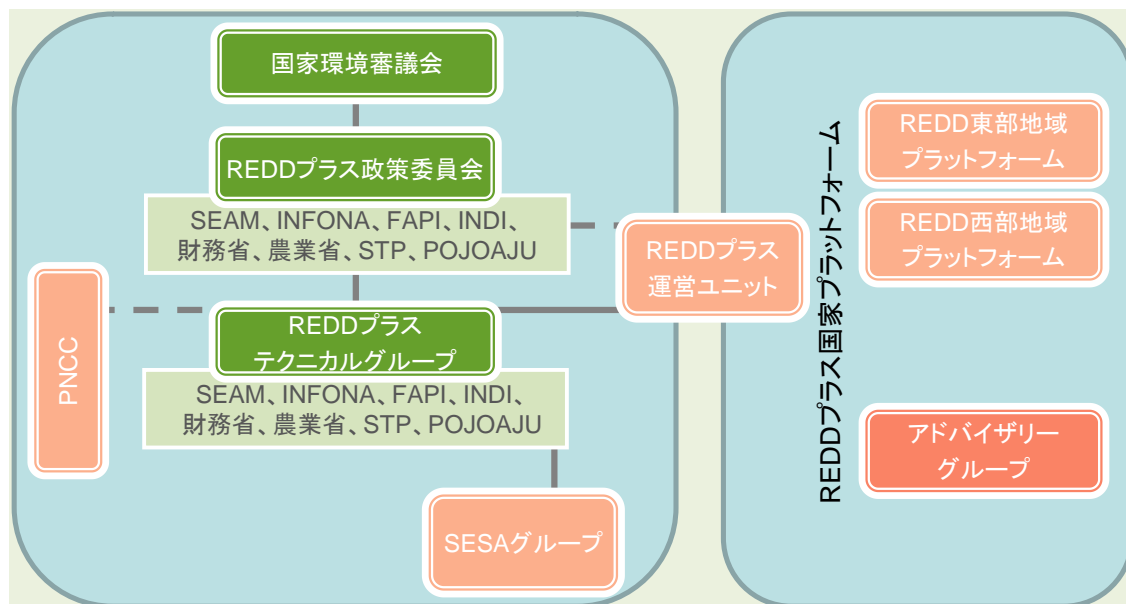
REDDプラスへの取組状況

2.1 取組開始

- 2008年4月にUN-REDDへの参加を表明し、同年9月に参加が承認された。
- 自主的炭素市場でのクレジット取引を見据えて、NGOによる2つのプロジェクトが進められており、それぞれREDDプラスプロジェクトとしてVerified Carbon Standard (VCS)とClimate, Community and Biodiversity Standard (CCBS)の両認証を取得している。

2.2 REDDプラス実施体制

- 国家環境審議会(Consejo Nacional del Ambiente : CONAM)が国の環境政策に関する協議のためのプラットフォームを設置している。国家環境審議会(CONAM)の下にREDD政策委員会(REDD Policy Committee)が組織され、国ベースのREDDプラス活動の実施状況と国家政策の戦略の方向性に関する報告を国家環境審議会(CONAM)へ行い、REDDテクニカルグループへ開発ビジョンを提供予定である。REDD政策委員会には、オブザーバーとして国家REDDプラスイニシアティブを支援する国際協力機関の代表が参加予定である。
- 国家REDDプラステクニカルグループ(National REDD+ Technical Group)はREDDプラス運営ユニットの技術ガイドラインを規定する。気候変動に関する国家プログラム(Programa Nacional de Cambio Climático : PNCC)内の国家気候変動事務局がREDDプラステクニカルグループに技術的助言を行う。
- REDDプラス運営ユニットはパラグアイのREDDプラスプロセスの管理を担い、REDDプラスに参加する組織やアドバイザーグループとの連携、地域別プラットフォームの運理管理の支援を行う予定。
- 国家REDDプラスプラットフォームは国家REDDプラス戦略を実施するための推奨事項を提供することを目的としたフォーラムであり、行政組織、先住コミュニティ、農業組織、女性グループ、青年グループ、大学等のステークホルダーが参加する予定である。2つの地域別プラットフォームの設置が提案されており、国家REDDプラス戦略の形成や実施に付随する基準やガイドラインを国家REDDプラスプラットフォームやREDD政策委員会へ提供し、各地域の特性が国家環境審議会(CONAM)に提示される予定。
- アドバイザーグループは、社会環境面の決定に関する国家REDDプラスプラットフォームの助言、代表グループからの提案の蓄積、国家REDDプラス戦略の開発やモニタリングのための情報収集、分野・地域別プログラム及び方法論の提案準備を担当し国家環境審議会(CONAM)へ提出する予定。戦略的環境社会評価(Strategic Environmental and Social Assessment : SESA)グループはプログラムやプロジェクトの実施プロセスから生じる環境社会的優先事項の対処に責任を有する。



(注) SEAM : Secretaría del Ambiente、INDI : Instituto Paraguayo del Indígena
 FAPI : Federación por la Auto-Determinación de los pueblos indígenas
 STP : Secretaria Técnica de Planificación del Desarrollo Económico Social
 POJOAJU : La Asociación de ONGs del Paraguay

図 3-1 REDDプラス実施体制⁶

表 3-1 主だったREDDプラス関係省庁及びその役割^{7,8}

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
環境庁 (SEAM)	<ul style="list-style-type: none"> 環境政策全般を管轄 砂漠化防止条約 (United Nations Convention to Combat Desertification : UNCCD)、国連気候変動枠組条約 (UNFCCC)、生物多様性条約 (Convention on Biological Diversity : CBD) 等の国際環境会議のフォーカルポイント 天然資源と生計の持続性確保、環境計画や関連制度、プロジェクトの設計・実施・調整・統制、森林や動植物、水資源利用に関する活動の統制を担当 REDDプラスに関しては、国家REDDテクニカルチーム、国家共同プログラム (NJP) 実施パートナー、森林計画や関連制度設計における国家共同プログラム (NJP) との調整を担当
国家森林局 (INFONA)	<ul style="list-style-type: none"> 森林分野の政策・森林法を管轄 森林利用許可、商業木材生産の管理、持続的森林管理の促進、森林・土地利用計画の承認、商業木材生産の統制を実施 REDDプラスに関しては、国家REDDテクニカルチーム、森林計画や関連制度設計における国家共同プログラム (NJP) との調整を担当

⁶ 出典 : Republic of Paraguay (2014) Readiness Preparation Proposal for Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation (R-PP) : 16-18, Chart No.1.

⁷ 出典 : UN-REDD (2010) National Programme Document-Paraguay : 50-51.

⁸ 出典 : Republic of Paraguay (2014) Readiness Preparation Proposal for Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation (R-PP) : 15.

表 2-1 つづき

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
農業省 (Ministerio de Agricultura y Ganadería : MAG)	<ul style="list-style-type: none"> 農業・家畜政策を担当 農家、コミュニティへの技術供与、持続的な生産促進、生産量調整、小規模農家やコミュニティへの持続的生産技術供与、小規模農家の国内法 (Registro Nacional De La Agricultura Familiar : RENAFA) 管理及び地方レベルの補助金分配を実施 REDDプラスに関しては、国家共同プログラム (NJP) 活動実施パートナー基金の支払い等管理システム開発の協力機関として機能
社会政策庁 (Secretaría de Acción Social : SAS)	<ul style="list-style-type: none"> 社会開発政策を担当 国内の最貧郡66カ所への基金投入を含むTeko Pora (福祉) プログラムを実施 REDDプラスに関しては、国家共同プログラム (NJP) 活動実施パートナー基金の支払い等管理システム開発の協力機関として機能
国立先住民局 (INDI)	<ul style="list-style-type: none"> 先住民問題の政策・プログラム担当 先住コミュニティ法の施行、先住民コミュニティの土地所有権確保等の支援を実施 REDDプラスに関しては、先住民問題解決のための実施パートナーとして機能
経済社会開発に関する技術的計画事務局 (STP)	<ul style="list-style-type: none"> パラグアイの持続的開発に関する調整、評価、設計及び活動推進の計画策定の責任機関
財務省 (Ministerio de Hacienda : MH)	<ul style="list-style-type: none"> 国の経済状況のモニタリング、国家会計の分析、経済政策の効果の評価を担当

2.3 FCPF及びUN-REDDへの参加

- 2008年に、世界銀行森林炭素パートナーシップ基金 (Forest Carbon Partnership Facility : FCPF) 準備基金へReadiness Plan Idea Note (R-PIN)を提出した。その後、2014年には世界銀行FCPF準備基金へReadiness Preparation Proposal (R-PP)が提出された。
- 2008年9月にUN-REDDへの参加が承認され、国家共同プログラム (NJP) 実施への支援を受けている。また、パラグアイの取組は、UN-REDDに承認された国家プログラムの中で、先住民民族自決連合 (FAPI) の同意を取り付けて実施された初めての取組である。

2.4 REDDプラス実施のための国内制度設計

2.4.1 REDDプラス実施にあたっての許可制度

- REDDプラス実施にあたっての明確な許可制度はない。
- 既存プロジェクトでは、プロジェクト実施者が対象地の土地利用権を購入し取組を実施している例がある⁹。

⁹ 出典：Guyra Paraguay (2012) The Paraguay Forest Conservation Project, Reduction of GHG emission from deforestation and forest degradation in the Chaco-Pantanal ecosystem : 12.

■ 2.4.2 利益配分システム

- 利益配分システムは構築されていない。
- 既存プロジェクトでは、パラグアイの法律に基づき炭素の権利は財産保有者 (property-holder) に帰属すると位置づけている例がある⁹。

■ 2.5 活動スケジュール及び資金計画

- UN-REDDは2011年から資金提供を開始し、2014年のプログラム終了までの期間に約4.7百万米ドルの支援を行うことを決定している¹⁰。

表 3-2 REDDプラス準備段階における推定費用等¹¹

大項目	活動 中項目	推定費用(単位:千米ドル)				計
		2015	2016	2017	2018	
組織・協議体制整備	国家 REDD プラスの準備段階管理体制整備	280	395	305	245	1,225
	主要ステークホルダーの協議情報共有体制構築	130	50	40	30	250
	関係機関との調整及び参加促進	170	125	105	70	470
REDDプラス戦略の準備	土地利用森林関連法、政策及びガバナンスの評価	170	120	55	35	380
	REDDプラス戦略オプション	145	445	345	265	1,200
	REDDプラス実施枠組みの構築	75	115	75	35	300
	社会・環境影響評価	95	120	80	30	325
参照レベル開発	—	130	150	55	20	355
モニタリングシステム設計	国家森林モニタリングシステム	660	200	40	10	910
	非炭素活動	170	160	60	20	410
取組のモニタリング・評価枠組みの構築	取組のモニタリングと評価	20	20	20	20	80
計		2,045	1,900	1,180	780	5,905
資金源	パラグアイ政府	295	325	225	155	1,000
	FCPF	645	1,575	955	625	3,800
	UN-REDD	565	0	0	0	565
	日本	540	0	0	0	540

(注) 表中の金額は、R-PPに示された2014年時点の計画である。

¹⁰ 出典：UN-REDD (2012a) UN-REDD Programme Funding Framework：6 Table3.

¹¹ 出典：Republic of Paraguay (2014) Readiness Preparation Proposal for Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation (R-PP)：142-143.

2.6 REDDプラスへの取組(年表)

表 3-3 REDDプラスに関する主な取組

REDDプラスに関する主だった取組	
2008年	<ul style="list-style-type: none"> 世界銀行FCPF準備基金へR-PINを提出 UN-REDDへの参加が承認される
2009年	<ul style="list-style-type: none"> 世界銀行FCPF準備基金へ提出したR-PINが受理される
2010年	<ul style="list-style-type: none"> UN-REDD国家プログラム文書が受理される
2011年	<ul style="list-style-type: none"> UN-REDD国家プログラムを開始 12月、環境庁(SEAM)、国家森林局(INFONA)及びアスンシオン国立大学農学部が、日本の森林総合研究所とREDDプラスに関する共同研究の覚書を締結
2012年	<ul style="list-style-type: none"> UN-REDDからの4年間の支援額(約4.7百万米ドル)が決定 MRV開発に貢献する国家森林モニタリングシステムを構築¹²
2013年	<ul style="list-style-type: none"> 国家森林モニタリングシステムをウェブサイトにて公開¹³ セーフガードのロードマップ作成に関するワークショップを開催
2014年	<ul style="list-style-type: none"> 国家森林インベントリの研修を開催 6月、世界銀行FCPF準備基金へR-PPを提出

¹² 出典：UN-REDD (2012b) UN-REDD Newsletter Issue # 33.

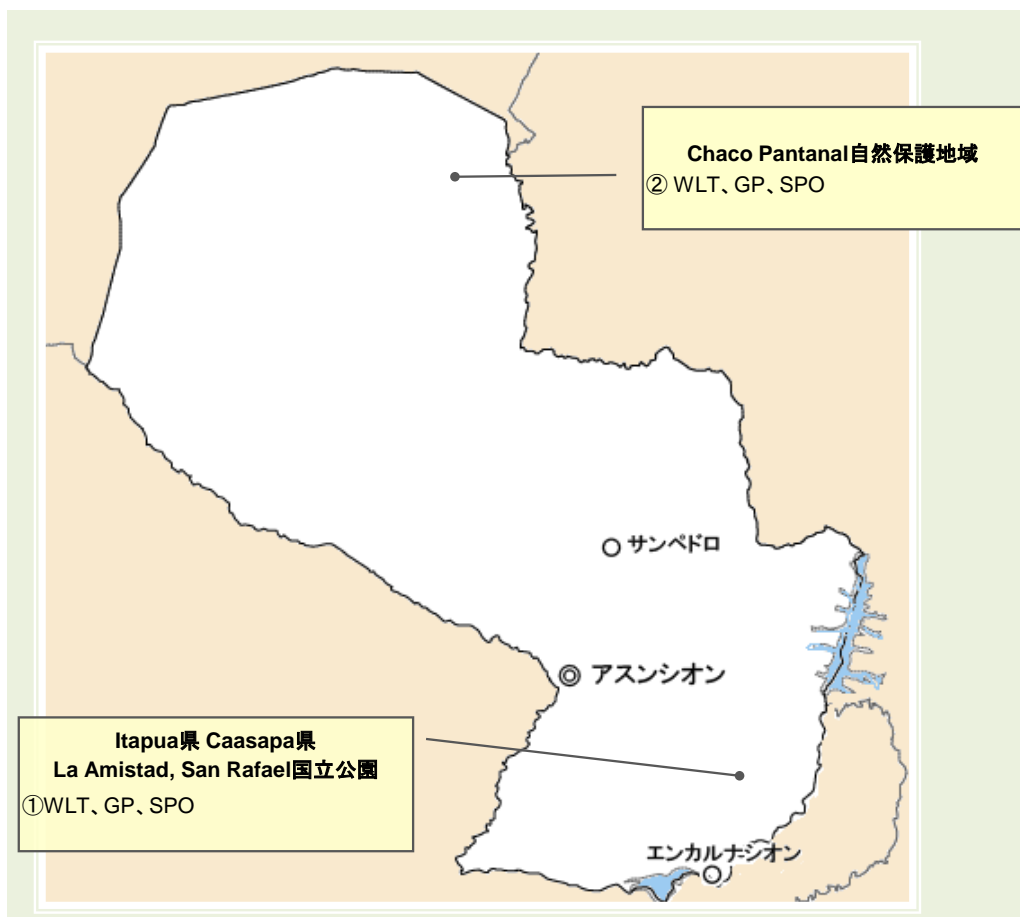
¹³ 出典：SEAM (2013) Paraguay National Forestry Monitoring System.

3

主だったREDDプラス関連事業の実施状況

3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況¹⁴

- プロジェクトベースでは、現地NGOであるGuyra Paraguay (GP)が1997年に設立され、2000年代以降、NGOであるWorld Land Trust (WLT)及び民間事業者Swire Pacific Offshore (SPO)と共同で、現地コミュニティ参加型の生物多様性保全の取組を実施してきた。これまでの活動・経験を踏まえ、2件のプロジェクトがVCS及びCCBSに登録され、REDDプラスの活動を進めている(図3-1及び表3-1中の①、②の取組)。
- UN-REDDや世界銀行は国ベースの資金支援を実施しており、UN-REDDでは国ベースのプロジェクトを実施している。
- これらの取組に加え、2012年から、日本の森林総合研究所がアスンシオン国立大学農学部、国家森林局 (INFONA) 及び環境庁 (SEAM)と覚書締結のうえ、森林炭素モニタリング技術の開発に関する共同研究を実施している。



(注) 図中の番号は、表3-1と対応。

(注) プロジェクト実施主体等が公開している情報から主だった事業を整理した。

図 4-1 主だったREDDプラス関連事業の実施地域及び実施団体

¹⁴ 出典：Guyra Paraguay (2013) About Us Guyra Paraguay.

表 4-1 主だったREDDプラス関連事業実施及び資金支援の状況

事業/支援 タイプ	主だった 実施主体	取組の概要
パイロット事業実施		
① NGOに よる支援	WLT、GP、SPO	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : The Paraguay Forest Conservation Project¹⁵ 実施場所 : Itapua県、Caasapa県 (La Amistad San Rafael国立公園) 2010年から取組を開始。 対象地のSan Rafaelは生物多様性のホットスポットであり、生物多様性保全の重要な地域。 プロジェクトによる排出削減量は20年間で最低800千t-CO₂の見込み。 CCBSの有効化審査が終了し、Gold Level認証を取得済。
② NGOに よる支援	WLT、GP、SPO	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : The Paraguay Forest Conservation Project Reduction of GHG Emissions from Deforestation and Forest Degradation in the Chaco-Pantanal Ecosystem¹⁶ 実施場所 : Chaco Pantanal 2011年から取組開始。 プロジェクトによる排出削減量は20年間で221,549t-CO₂の見込み。 2013年1月にVCS認証を取得し、2013年4月にVerified Carbon Unit (VCU)を発行した。

(注) 左列の番号は、図3-1と対応。

3.2 日本の支援状況

- 環境プログラム無償「森林保全計画」¹⁷ (2009～2011年度) : REDDプラス活動を見据えたパラグアイ全土の森林保全・管理を目的とし、森林の植生調査、関連基礎情報の収集・分析・管理等の活動に必要な機材等整備のために700百万円の資金供与を実施した。その他に、2010～2011年度には、2件の森林保全関連の課題別研修を実施した。
- 2011年、日本の森林総合研究所はアスンシオン国立大学農学部、国家森林局 (INFONA) 及び環境庁 (SEAM) と覚書を締結し、2012年からリモートセンシング及び地上調査による森林炭素モニタリング技術の開発に関する共同研究を実施してきた¹⁸。

¹⁵ 出典 : Guyra Paraguay (2010) .The Paraguay Forest Conservation Project, Project Design Document,

¹⁶ 出典 : Guyra Paraguay (2012) The Paraguay Forest Conservation Project Reduction of GHG Emissions from Deforestation and Forest Degradation in the Chaco-Pantanal Ecosystem, Project Design Document,

¹⁷ 出典 : 外務省 (2012) 国際協力 国別援助方針 : パラグアイ共和国,

¹⁸ 出典 : 森林総合研究所 (2012) パラグアイでの取組,

4

その他

4.1 UNFCCCへの関与情報

4.1.1 UNFCCCでの取組状況

表 5-1 UNFCCCでの取組状況^{19,20}

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	批准：1994年2月24日
京都議定書	批准：1999年8月27日
DNA担当組織	環境庁(SEAM)
第1次国別報告書	2002年4月10日提出
第2次国別報告書	2011年12月8日提出
隔年更新報告書	未提出(2014年12月31日現在)

4.1.2 NAMAsにおけるREDDプラスの位置づけ

- パラグアイのNAMAsに関する情報はない。

4.2 UNFCCCへ提出している森林情報

表 5-2 A/R CDMのための森林定義²¹

項目	値
森林面積	最小0.5ha
樹冠率	最低25%
樹高	最低5m

表 5-3 A/R CDMの対象森林²¹

項目	A/R CDMの対象状況
竹林	(記載なし)
オイルパーム	(記載なし)

4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策²²

- 2011年11月に、環境庁(SEAM)が国家気候変動政策(案)を提示した。同政策では、適応と緩和に関する対策を、組織強化、財務管理、教育やコミュニケーション及び市民参加、知見・技術の管理の4本柱で進める方針としている²³。本政策を検討するための国家気候変動委員会(Comisión Nacional de Cambio Climático : CNCC)には、NGOや民間団体、大学等の専門家が参加し、議論を実施している。

¹⁹ 出典：UNFCCC (2014a) Parties & Observer States: Paraguay.

²⁰ 出典：UNFCCC (2014b) Submitted biennial update reports (BURs) from non-Annex I Parties.

²¹ 出典：UNFCCC (2014c) Designated National Authorities.

²² 出典：UNDP (2012) Paraguay presents proposal on Climate Change.

²³ 出典：SEAM (2011) Construcción de la Política Nacional de Cambio Climático.

出典・参考資料

- FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. FAO
<http://www.fao.org/forestry/fra/fra2010/en/>
- FCPF (2014) PARAGUAY R-PP FORMAL PRESENTATION. FCPF
https://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2014/July/Paraguay_presentaci%C3%B3n_rpp_ver_final_revisado_02072014final.pdf
- 森林総合研究所 (2012) パラグアイでの取組. 森林総合研究所 <http://www.ffpri.affrc.go.jp/redd-rdc/ja/activities/paraguay.html>
- Guyra Paraguay (2010) The Paraguay Forest Conservation Project, Project Design Document. Guyra Paraguay https://s3.amazonaws.com/CCBA/Projects/The_Paraguay_Forest_Conservation_Project/Guyra+Paraguay+CCB+Exh+10.pdf
- Guyra Paraguay (2012) The Paraguay Forest Conservation Project, Reduction of GHG emission from deforestation and forest degradation in the Chaco-Pantanal ecosystem: 12. CCBA https://s3.amazonaws.com/CCBA/Projects/The_Paraguay_Forest_Conservation_Project-Reduction_of_GHG_emissions_from_deforestation_and_forest_degradation_in_the_Chaco-Pantanal_ecosystem/S_wire+Pacific+Offshore+CCB-VCS+valid+PDD+12.pdf
- Guyra Paraguay (2013) About Us. Guyra Paraguay <http://www.guyra.org.py/ingles/about.php>
- 外務省 (2012) 国際協力 国別援助方針: パラグアイ共和国. 外務省 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/seisaku/hoshin/pdfs/paraguay.pdf>
- Republic of Paraguay (2014) Readiness Preparation Proposal for Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation (R-PP). FCPF
https://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2014/June/RPP_Paraguay_rev_090614_English.pdf
- SEAM (2011) Construccion de la Politica Nacional de Cambio Climatico. Rio Conventions Pavilion http://www.riopavilion.org/storage/durban_construccion_politicanacio_nalcambio_climatico.pdf
- SEAM (2013) Paraguay National Forestry Monitoring System. SEAM
<http://84.33.1.31/>
- UN data
<http://data.un.org/Default.aspx>
- UNDP (2012) Paraguay presents proposal on Climate Change. UNDP http://www.eeg-regionalcentre-lac-undp.org/index.php?option=com_content&view=article&id=91:paraguay-presenta-propuesta-de-cambio-climatico-&catid=3:noticias&Itemid=4&lang=en
- UNFCCC (2014a) Parties & Observer States: Paraguay. UN-REDD <http://maindb.unfccc.int/public/country.pl?country=PY>
- UNFCCC (2014b) Submitted biennial update reports (BURs) from non-Annex I Parties. UNFCCC http://unfccc.int/national_reports/non-annex_i_natcom/reporting_on_climate_change/items/8722.php
- UNFCCC (2014c) Designated National Authorities. UNFCCC
<http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- UN-REDD (2010) National Programme Document: Paraguay. UN-REDD http://www.unredd.net/index.php?option=com_docman&task=doc_download&gid=3454
- UN-REDD (2011) Newsletter Issue#21. UN-REDD
http://www.un-redd.org/Newsletter21/Four_Countries_Start_NP_Implementation/tabid/54804/Default.aspx
- UN-REDD (2012 a) UN-REDD Programme Funding Framework. UN-REDD
http://www.unredd.net/index.php?option=com_docman&task=doc_download&gid=8354&Itemid=53
- UN-REDD (2012b) UN-REDD Newsletter Issue # 33. UN-REDD
http://www.un-redd.org/Newsletter33/FAO_Forest_Week/tabid/106653/Default.aspx

本レポートは、2014年12月31日までに公表された情報に基づく。